プレスリリース

広島県府中市　情報提供
令和７年２月７日（金曜）
総務課地域活力創生係　　唐川 都市デザイン課住宅政策係　原田
電話 0847-44-9108(総務課) 電話 0847-44-9172(都市デザイン課)

南宮台団地「我が家の終活勉強会」（第４回・最終回）を開催

昭和 54 年に完成した南宮台団地は、団地造成から 45 年が経過し老朽化が進む中、20 年間で約 600 人が減少しています。

11 月から毎月１回「我が家の終活」をテーマに自分事として考える勉強会を開催してきましたが、最終回の勉強会では、地域づくりの視点で開催します。ぜひ、取材をお願いします。

日　　時　２月 16 日(日)　10 時～12 時
場　　所　南宮台集会所(府中市栗柄町 72-4)
運営協力　空き家対策プロジェクト一般社団法人さくらブリッジ

これまでの勉強会では、これからを安心して暮らすための整理方法やエンディングノート、箪笥の衣類片付けカードゲームなどで「空き家」になった我が家について自分事として考えてきました。第４回の最終回では、地域づくり(地域事)の視点で座談会を中心に南宮台のまちづくりを考えます。

別紙【参考資料】

【団地特有の事情】

造成当時に入居した若い世代が、同じ時期に一斉に高齢化するというのが団地特有の特徴。令和 2 年の南宮台団地の高齢化率は 38.0%で、20 年間で 20.9 ポイントも上昇しています。

また、団地造成から 45 年が経過し老朽化が進んでおり、住民アンケートでは「住宅の傷み具合等へ不満を感じる」割合が高くなっているが、南宮台団地は 50～60 坪の狭小住宅政策時代の団地のため、若い人が同居したくてもできない狭さという特徴もあり、高齢者のみ世帯若しくは高齢者の独居世帯が増えています。

【「自分事」から「地域事」へ】

高齢化に伴い増加する空き家が活用できる空き家なら問題はないが、多くの地域で放置され活用できない空き家が増え、空き家が社会問題化しているのはなぜでしょうか?

これまでの 3 回の勉強会では、空き家が放置される背景やきっかけのほか、なぜ片付ける必要があるのか、今の暮らしを見直す片付けヒントなどを学び、空き家予備軍を減らす工夫などを「自分事」として考えてきました。

そこで最終回の第 4 回勉強会では、「地域事」として地域の空き家対策を考えるため、地域づくりの視点で座談会を開催します。

・第 1 回　11/16(土)　「これから」を安心して暮らすための 3 つの整理
・第 2 回　12/7 (土)　　大切な想いを伝える「エンディングノート」
・第 3 回　1/12 (日)　　箪笥の衣類片付けカードゲーム
・第 4 回　2/16 (日)　　座談会(地域づくりの視点)